

ヒメイチゲ

Anemone debilis Fisch. ex Turcz.
キンポウゲ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は7箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

種の特徴

亜高山帯の常緑針葉樹林や高山帯のハイマツ林の縁、草原に見られる多年草。花茎は高さ5～15cm。根出葉は1回3出複葉で、ほとんど無柄、深く分裂せず、あらい鋸歯がある。茎葉は3枚が輪生し、3全裂する。花茎に直径1cmの花を1個頂生する。

分 布

北海道～本州（近畿地方以北）に分布する。県内では大野市、南越前町、池田町から確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である高山・亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。園芸目的の採取。とくに、登山道整備での注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○	○						○	○	

ミツバノバイカオウレン

Coptis trifoliolata (Makino) Makino
キンポウゲ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は7箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

種の特徴

亜高山から高山の水湿の草原に生える多年草。匍枝は出さない。根出葉は3出複葉で、小葉の上半分にあらい少数の鋸歯がある。6～8月頃、長い花柄を伸ばし、1個の花をつける。花茎は太く、葯は赤紫色。

分 布

本州（東北地方、中部地方）の日本海側の高山帯、亜高山帯に分布する。県内では、大野市で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の植生の変化。温暖化による生育地の減少。園芸目的の採取。とくに、登山道整備での注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1997）、門田（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

サンインシロカネソウ

Dichocarpum nipponicum (Franch.) W.T.Wang et P.K.Hsiao var. *sarmentosum* (Ohwi) Tamura et K.Kosuge
キンポウゲ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は12箇所である。本県が分布の北東限であり、県内での生育地が嶺南地方の山地に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

種の特徴

山地のやや湿った場所に生える多年草。根茎の発達が悪く、花後に長い匍枝を出して繁殖する。茎の高さは5～18cm。基部には根出葉はつけないか、つけてもふつう1枚。花はやや半開し、横向きまたは下向きに咲く。閉鎖花をつけない。種子は平滑。

分 布

本州の日本海側（本県～島根県）に分布する。県内では、美浜町、若狭町、小浜市、おおい町で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地の森林の開発。植生遷移による生育環境の悪化。シカ等の獣害による影響も新たな脅威となる。もともと個体数が少ない。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○												